

## 第29回加西市公共交通活性化協議会 次第

日 時 平成29年3月16日（木）14時00分～

場 所 加西市役所5階会議室（大）

### 1 開 会

### 2 協議事項

（1）コミバス等の運賃無料化施策について

### 3 報告事項

（1）平成28年度の実施事業について

公共交通利用促進事業（総合時刻表『おでかけナビ』）

交通結節点整備（北条町駅）

はっぴーバスのフリー降車について

（2）地域公共交通確保維持改善事業・事業評価

地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

（3）新年度のダイヤ改正について

### 4 その他

次回協議会の開催について

平成29年6月頃予定

### 5 閉 会



( 公 印 省 略 )  
加 ふ 人 第 3 0 9 号  
平 成 2 9 年 3 月 1 6 日

加西市公共交通活性化協議会  
会長 佐伯 武彦

加西市長 西村 和平

コミュニティバス等の対象者に対する運賃無料化施策について

平成28年7月20日付加交協第6号で意見のあった見出しの事業について、別紙のとおり事業の実施状況と効果検証調査の結果をご報告します。

つきましては、平成29年度以降の事業継続について貴会においてご審議の上、ご意見を賜りますようお願い申し上げます。



# コミバス等の運賃無料化施策について（実施状況）

## 1 目的

---

市総合計画の重点施策に掲げる高齢者支援や子育て支援等の強化、歩くまちづくりの推進に向けた公共交通事業にかかる取り組みとしてコミュニティバスの運賃を軽減することにより、徒歩を含めた多様な移動手段を利用するきっかけづくりと市民生活の質の向上を目指す。

## 2 事業概要

---

加西市内在住の対象者に対し、コミュニティバス及び重複路線における路線バスによる市内移動について、乗車運賃を無料化する。5ヶ月間の試用期間を設け、施策実施前後の利用状況の比較による効果検証を実施するとともに運用方法の改善を図り、来年度以降の継続実施を目指す。

## 3 実施期間

---

試行期間：平成28年11月1日～平成29年3月31日（5ヶ月）

継続実施：平成29年4月1日～

## 4 対象路線

---

コミュニティバス ねっぴ〜号とはっぴーバスの全路線

重複するバス路線 下記路線の市内の乗降利用

- ・大和北条線（アステシアかさい～中富口～ニヶ坂）
- ・北条姫路線（フラワーセンター南門前～北条営業所～神姫レストラン前または西山下）
- ・北条社線（アステシアかさい～青野ヶ原）
- ・北条高砂線（北条営業所～東高室・播磨農高前～倉谷）
- ・姫路社線（奥猫尾または法華山一乗寺～青野ヶ原）

## 5 対象者（必要な身分証）

---

- |             |         |              |           |
|-------------|---------|--------------|-----------|
| ①後期高齢者      | （保険証）   | ⑥障がい者（身体 知的） | （手帳）      |
| ②障がい者（精神）   | （手帳）    | ⑦運転免許返納者     | （運転経歴証明書） |
| ③中学生        | （生徒手帳）  | ⑧小学生以下       | （身分証不要）   |
| ④未就学児同伴の保護者 | （身分証不要） |              |           |
| ⑤妊娠中の方      | （母子手帳）  |              |           |

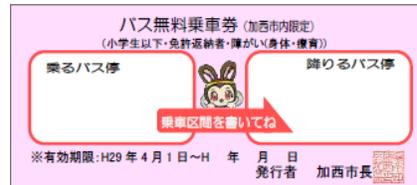
## 6 無料乗車券と配布場所

### 【ねっぴ〜号】

#### (大人運賃対象者①～⑤)



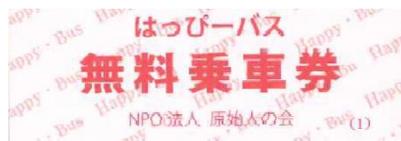
#### (小児等運賃対象者⑥～⑧)



- ・市役所（人口増政策課・地域福祉課・長寿介護課・国保医療課・総合窓口）
- ・健康福祉会館、地域交流センター、市民会館、各公民館（善防・南部・北部）
- ・加西病院
- ・観光案内所（北条鉄道）
- ・神姫バス北条営業所
- ・ねっぴ〜号車内

### 【はっぴーバス】

#### (大人運賃対象者①～⑦)



#### (小学生用無料乗車券⑧)



- ・市役所（人口増政策課・総合案内）
- ・NPO 法人原始人の会
- ・はっぴーバス車内

## 7 これまでの主な取組み

平成28年	9月20日	代表区長会での事業説明
	9月28日	10月号広報とともに無料券を全戸へ配布
	10月18日・19日	ゴミバス利用状況の事前調査
	11月1日	無料化開始
平成29年	1月12日	市老人クラブへの説明
	1月31日・2月1日	ゴミバス利用状況の事後調査

8 利用者の推移状況

※H28年11月1日より無料化開始

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
国正線	H27	141	118	169	177	108	149	154	162	126	101	123	146	1,674	
	H28	114	114	135	138	118	144	118	170	189	265	263		1,768	
	増減率(前年比)	△19.1%	△3.4%	△20.1%	△22.0%	9.3%	△3.4%	△23.4%	4.9%	50.0%	162.4%	113.8%	0	5.6%	
九会線	H27	217	178	254	192	183	174	187	155	168	146	151	202	2,207	
	H28	248	197	194	230	255	242	205	274	262	267	289		2,663	
	増減率(前年比)	14.3%	10.7%	△23.6%	19.8%	39.3%	39.1%	9.6%	76.8%	56.0%	82.9%	91.4%	0	20.7%	
フラワセンター線	H27	21	22	64	67	35	64	62	74	74	78	44	118	723	
	H28	178	97	181	164	137	234	217	150	238	206	216		2,018	
	増減率(前年比)	747.6%	340.9%	182.8%	144.8%	291.4%	265.6%	250.0%	102.7%	221.6%	164.1%	390.9%	0	179.1%	
市街地 (中富線)	H27	648	521	673	703	585	648	658	574	582	436	565	765	7,358	
	H28	605	556	673	612	724	621	693	945	838	657	632		7,556	
	増減率(前年比)	△6.6%	6.7%	0.0%	△12.9%	23.8%	△4.2%	5.3%	64.6%	44.0%	50.7%	11.9%	0	2.7%	
市街地 (福祉会館線)	H27	93	87	103	123	88	108	91	90	87	72	64	96	1,102	
	H28	116	89	110	108	133	128	95	159	184	136	134		1,392	
	増減率(前年比)	24.7%	2.3%	6.8%	△12.2%	51.1%	18.5%	4.4%	76.7%	111.5%	88.9%	109.4%	0	26.3%	
市街地線合計	H27	741	608	776	826	673	756	749	664	669	508	629	861	8,460	
	H28	721	645	783	720	857	749	788	1,104	1,022	793	766	0	8,948	
	増減率(前年比)	△2.7%	6.1%	0.9%	△12.8%	27.3%	△0.9%	5.2%	66.3%	52.8%	56.1%	21.8%	0	5.8%	
ねっぴ〜号 合計	H27	1,120	926	1,263	1,262	999	1,143	1,152	1,055	1,037	833	947	1,327	13,064	
	H28	1,261	1,053	1,293	1,252	1,367	1,369	1,328	1,698	1,711	1,531	1,534	0	15,397	
	増減率(前年比)	12.6%	13.7%	2.4%	△0.8%	36.8%	19.8%	15.3%	60.9%	65.0%	83.8%	62.0%	0	17.9%	
万願寺線	H27	200	185	196	215	187	246	213	192	206	163	205	224	2,432	
	H28	227	189	227	209	215	199	284	270	233	214	244		2,511	
	増減率(前年比)	13.5%	2.2%	15.8%	△2.8%	15.0%	△19.1%	33.3%	40.6%	13.1%	31.3%	19.0%	0	3.2%	
若井線	H27	122	132	174	140	153	125	124	143	119	104	120	135	1,591	
	H28	140	118	129	131	130	153	133	175	161	156	151		1,577	
	増減率(前年比)	14.8%	△10.6%	△25.9%	△6.4%	△15.0%	22.4%	7.3%	22.4%	35.3%	50.0%	25.8%	0	△0.9%	
芥田線	H27	68	61	56	58	45	57	53	74	71	52	68	75	738	
	H28	46	63	59	55	59	71	48	68	56	69	69		663	
	増減率(前年比)	△32.4%	3.3%	5.4%	△5.2%	31.1%	24.6%	△9.4%	△8.1%	△21.1%	32.7%	1.5%	0	△10.2%	
根日女の湯線	H27	13	6	9	10	14	11	10	11	10	9	12	12	127	
	H28	19	16	15	16	18	19	23	19	27	14	22		208	
	増減率(前年比)	46.2%	166.7%	66.7%	60.0%	28.6%	72.7%	130.0%	72.7%	170.0%	55.6%	83.3%	0	63.8%	
はっぴーバス 合計	H27	403	384	435	423	399	439	400	420	406	328	405	446	4,888	
	H28	432	386	430	411	422	442	488	532	477	453	486	0	4,959	
	増減率(前年比)	7.2%	0.5%	△1.1%	△2.8%	5.8%	0.7%	22.0%	26.7%	17.5%	38.1%	20.0%	0	1.5%	
神姫路線バス 合計	大和線	H28								121	90	68			279
	北条〜社線	H28								10	7	10			27
	特別支援学校線	H28								26	20	26			72
	高砂〜北条線	H28								14	7	0			21
	高砂〜北条線(農高経由)	H28								26	10	14			50
	姫路〜北条線(山田経由)	H28								87	128	97			312
	姫路〜北条線(大貫経由)	H28								24	25	42			91
	姫路〜社線	H28								1	1	1			3
	姫路〜社線(一乗寺経由)	H28								1	8	6			15
神姫路線バス 合計	H28								310	296	264	0	0	870	



# コミバス等の運賃無料化施策について（効果検証調査）

## 1. 調査の概要

### 1.1 調査目的

加西市においては、後期高齢者や障がい者、子育て世代等の支援を強化することを目的に、平成 28 年 11 月 1 日より加西市内のバス(KASAI ねっぴ〜号、はっぴーバス、路線バス[乗車地と降車地がともに加西市内の場合のみ])において使用できる無料乗車券の配布を開始している。

このうち KASAI ねっぴ〜号においては、バスの利用状況を把握するためにアンケートを実施しており、この結果から当該バスがどのような現状であるかを把握しておく必要がある。

本業務は、料金施策による利用者の状況についてアンケートを用いて検証し、施策前後の比較等から、今後も継続的に事業を進めていくかの基礎データ収集を目的とした。

#### ■ 加西市内バス無料乗車券の概要

75 歳以上の方や中学生以下の子どもなど、対象の方が市内区間でバスを利用する際、身分証を提示し、無料乗車券を使うとバスの運賃が無料となる。

**【利用できる方と必要な身分証】**

**大人運賃の方: 無料乗車券(青)**

- ・75歳以上の方 ……後期高齢者医療被保険者証
- ・精神障害者保険福祉手帳をお持ちの方 ……障害者手帳
- ・中学生 ……生徒手帳
- ・妊娠中の方 ……母子手帳
- ・乳幼児<sup>(※1)</sup>・同伴の保護者<sup>(※2)</sup> ……身分証不要

※1 乳幼児: 小学校入学までの子ども    ※2 子ども一人につき保護者1名利用可

**半額運賃の方: 無料乗車券(赤)**

- ・小学生以下の子ども ……身分証不要
- ・運転免許を返納された方 ……運転経歴証明書
- ・身体障害者手帳、療育手帳をお持ちの方<sup>(※3)</sup> ……障害者手帳

※3 “バス介着付”と記入のある手帳をお持ちの場合、介護者の方1名も利用可(ただし、同時に同区間を利用の場合のみ)

**《記入例》**

バス無料乗車券 (2024年11月1日～2024年12月31日) 発行先: 加西市長

乗車地: アステアかさい    降車地: 加西病院

バス無料乗車券 (2024年11月1日～2024年12月31日) 発行先: 加西市長

乗車地: 市役所前    降車地: イオンモール加西北条

### 1.2 調査日時

調査日:(料金施策実施前)平成 28 年 10 月 18 日(火)・10 月 19 日(水)の 2 日間

(料金施策実施後)平成 29 年 1 月 31 日(火)・2 月 1 日(水)の 2 日間

調査時間:7:00～19:00(始発～終着)

### 1.3 調査系統

調査系統は図 1.3.1 に示すとおりであり、KASAI ねっぴ〜号の「市街地線」「国正線」「九会線」「フラワーセンター線」を対象として実施した。

加西市コミュニティバス

# KASAI ねっぴ〜号 運行路線図

ねっぴ〜号 平日毎日運行[土日祝・12/30~1/3運休]  
 神姫バス大和線 [土日祝・8/13~15、・12/30~1/3運休]



平成27年10月1日改定

## 運行路線

- 市街地線
- 国正線
- 九会線
- フラワーセンター線
- 神姫バス大和線

   : 加西病院から160円の区間

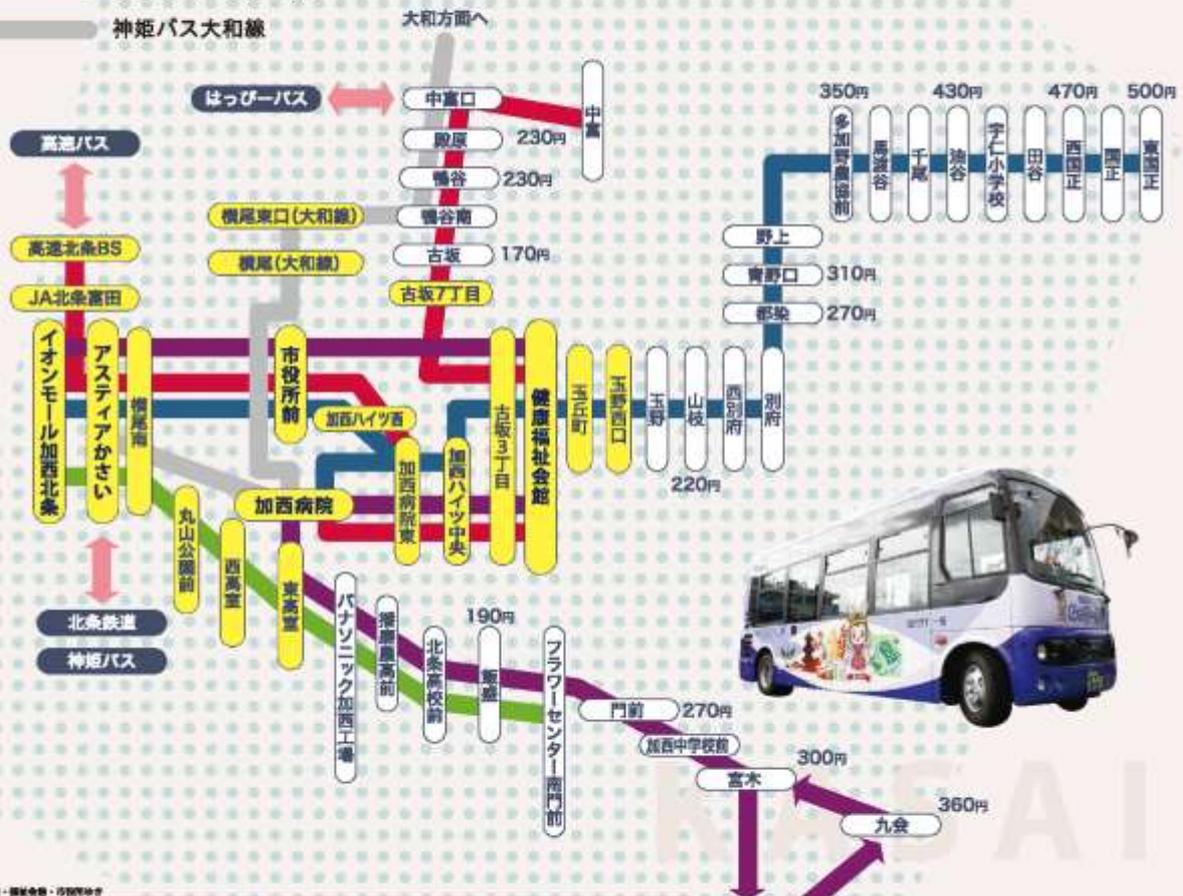
表示金額: 加西病院までの運賃[目安]

加西病院をご利用の際は「加西病院専用券」をご利用ください[裏面参照]

ねっぴ〜号がますます便利になりました

イオン・アステシア〜市民病院・健康福祉会館・市役所の移動が便利になりました  
 市街地線の夕方の運行時間を拡大しました

イオン・アステシア〜高校・フラワーセンターを結ぶフラワーセンター線を運行



※この時刻表は、時刻表・時刻表

路線	バス	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所
イオン・アステシア	7:58	8:31	8:54	9:39	10:36	11:03	11:11	11:55	12:58	13:57	14:51	14:21	14:48	15:18	16:19	17:19				
アステシア	8:00	8:37	8:56	9:41	10:38	11:05	11:13	11:57	12:23	13:00	12:19	12:53	13:23	14:50	15:53	16:31	17:31			
市役所	8:03	8:40	8:59	9:44	10:41	11:08	11:16	12:00	13:03	13:24	13:58	14:28	14:53	15:23	16:24	17:24				
加西病院	8:05	8:42	9:01	9:47	10:44	11:01	11:19	12:03	13:06	13:10	13:54	14:24	14:56	15:26	16:27	17:27				
健康福祉会館	8:48	9:07	9:52	10:49	11:06	11:24	12:08	13:11	13:15	13:59	14:29	15:01	15:31	16:32	17:32					

イオン・アステシア

路線	バス	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	市役所	
健康福祉会館	7:57	8:37	8:42	9:11	9:44	9:54	10:32	12:01	12:08	12:29	13:47	14:44	15:44	16:31	17:31					
加西病院	7:46	8:02	8:52	8:37	9:16	9:49	10:01	10:11	10:37	12:06	12:13	12:44	13:42	14:16	14:49	15:49	16:48	17:40		
市役所	8:03	8:30	8:44	9:19	9:52	10:04	10:40	12:09	12:16	12:47	13:49	14:52	15:52	16:43	17:43					
アステシア	7:51	8:08	8:38	8:47	9:22	9:35	10:07	10:18	10:43	12:12	12:19	12:50	13:52	14:21	14:53	15:53	16:48	17:46		
イオン・アステシア	8:10	8:40	8:49	9:24	9:57	10:06	10:45	12:14	12:21	12:52	13:54	14:57	15:57	16:48	17:48					

\*丸山は加西病院と健康福祉会館の間のルートと異なります。

お問い合わせ 加西市役所 人口増政策課 Tel.42-8700 詳しい時刻表の設置場所  
 加西市役所(代) Tel.42-1110 市役所 北条町駅 加西病院 加西市ホームページ(ダウンロード)

図 1.3.1 調査系統

### 1.4 調査内容

バスに乗車する利用者を対象に、別途作成したアンケートを調査票(図 1.4.1 参照)の項目についてヒアリング形式により調査を行った。

なお、調査への協力依頼や質問回答については、無理強いしないように調査を行った。

コミュニティバス『KASAIねっぴ〜号』乗降アンケート調査

調査日:平成 年 月 日

1 性別	① 男 ② 女
2 年齢	① 20歳未満 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代以上
3 利用区分	① 小学生 ② 中学生 ③ 後期高齢者 ④ 障がい者 ⑤ 乳幼児同伴保護者 ⑥ 妊婦 ⑦ その他
4 乗車バス停	市街地線 <input type="checkbox"/> 伊丹・北条バス停発 8:35 8:50 9:35 10:36 11:11 11:55 13:13 13:51 14:21 16:15 17:15 <input type="checkbox"/> 中富・福祉会館発 8:18 9:02 9:35 9:56 10:23 11:52 12:30 14:35 15:35 16:35 17:35
	国正線 <input type="checkbox"/> 国正発 (7:34 11:45) <input type="checkbox"/> イオン発 (10:53 14:48)
	九会・ フラワーセンター線 <input type="checkbox"/> 九会(循環) 7:58 12:58 15:18 <input type="checkbox"/> 7:45 9:50 <input type="checkbox"/> 7:47発 14:20 16:20 17:20 18:10 18:43
5 降車バス停	市街地線
	国正線
	九会・ フラワーセンター線
6 移動の目的	① 通勤・通学 ② 買物 ③ 通院 ④ 帰宅 ⑤ その他
7 差し支えなければ目的地	( )
8 運転免許の有無	① 有 ② 無 →(免許返納 有・無 )
9 バスの利用頻度	① 週3日以上 ② 週1~2日 ③ 月2~3回 ④ 月1回 ⑤ 年に数回 ⑥ ほとんど無し
10 乗り継ぎの有無	① 無 ② 鉄道へ乗継(北条鉄道・他) ③ バスへ乗継(高速バス・姫路線・高砂線・大和線・社線・はっぴー)
11 利用券種	① ICカード ② 現金 ③ 市内バス無料乗車券(2回目調査のみ) ④ その他

図 1.4.1 アンケート調査票

## 2. 調査結果

### 2.1 回収状況

- ・回収状況は以下に示すとおりである。
- ・料金施策実施前は合計 130 票、実施後は 123 票を回収した。

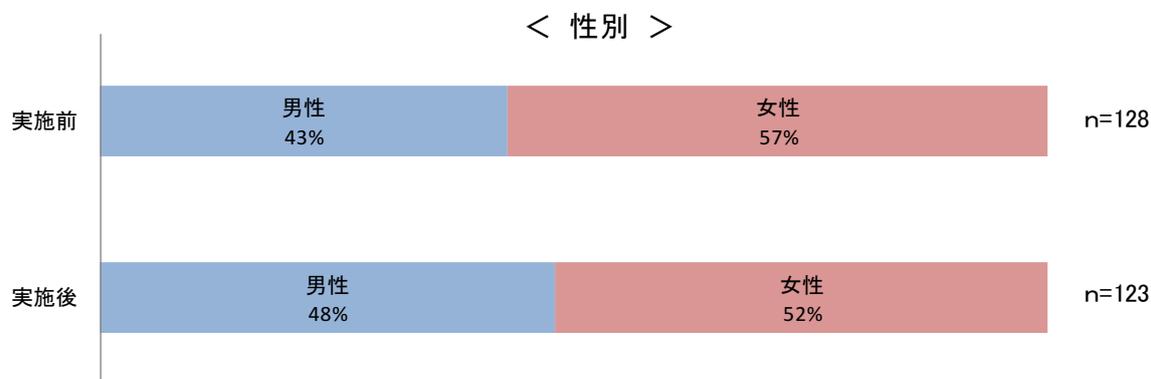
#### < 回収状況 >

調査日	系統	回収枚数 (票)
料金施策 実施前	市街地線	80
	国正線	22
	九会・フラワーセンター線	28
	合計	130
料金施策 実施後	市街地線	57
	国正線	17
	九会・フラワーセンター線	49
	合計	123

## 2.2 属性（問1～問3）

### (1) 性別（問1）

- ・回答者の性別は以下に示すとおりである。
- ・回答者は女性が若干多くなっているものの、実施前後で大きな変化はない。

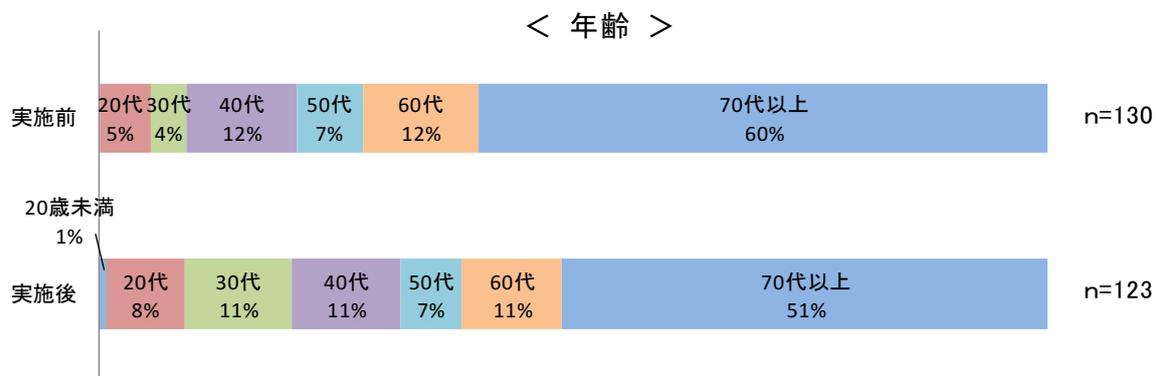


※ 未回答除く

調査日	男性	女性	合計
実施前	55 (43%)	73 (57%)	128 (100%)
実施後	59 (48%)	64 (52%)	123 (100%)

### (2) 年齢（問2）

- ・回答者の年齢は以下に示すとおりである。
- ・回答者は実施前後ともに70代以上が半数以上を占めている。
- ・実施後において、30代が若干多くなっている。

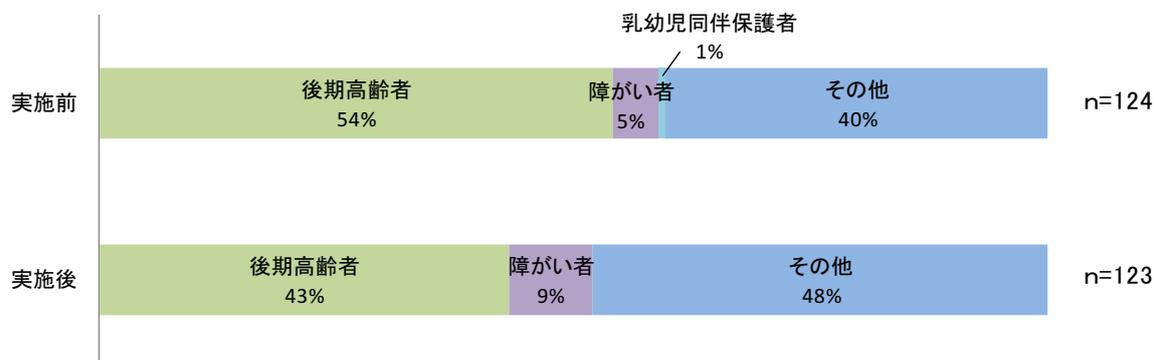


調査日	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
実施前	0 (0%)	7 (5%)	5 (4%)	15 (12%)	9 (7%)	16 (12%)	78 (60%)	130 (100%)
実施後	1 (1%)	10 (8%)	14 (11%)	14 (11%)	8 (7%)	13 (11%)	63 (51%)	123 (100%)

### (3) 利用区分 (問3)

- ・回答者の利用区分は以下に示すとおりである。
- ・回答者は実施前後ともに後期高齢者が多くなっており、全体の約4~5割を占めている。
- ・実施後において、障がい者が若干多くなっている。

#### < 利用区分 >



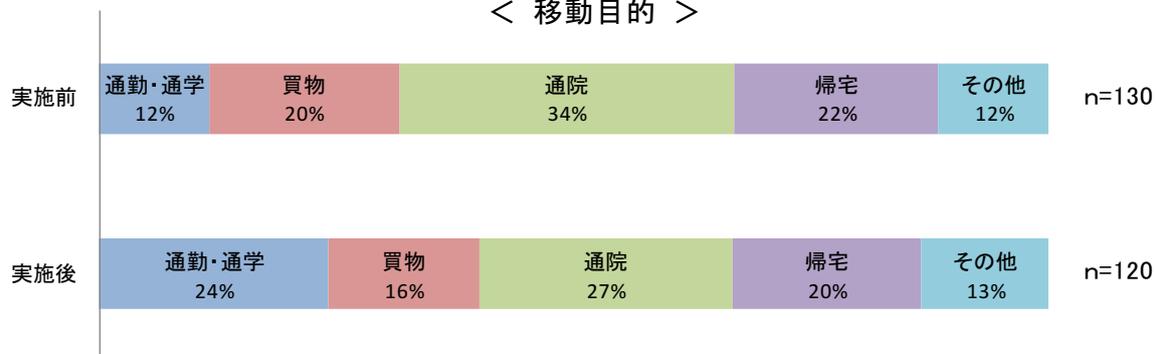
※ 未回答除く

調査日	小学生	中学生	後期高齢者	障がい者	乳幼児同伴保護者	妊婦	その他	合計
実施前	0 (0%)	0 (0%)	67 (54%)	6 (5%)	1 (1%)	0 (0%)	50 (40%)	124 (100%)
実施後	0 (0%)	0 (0%)	53 (43%)	11 (9%)	0 (0%)	0 (0%)	59 (48%)	123 (100%)

### 2.3 移動目的 (問6)

- ・回答者の移動目的は以下に示すとおりである。
- ・回答者は実施前後ともに通院が多くなっており、全体の約3割を占めている。
- ・実施後において、通勤・通学が倍増している。

#### < 移動目的 >

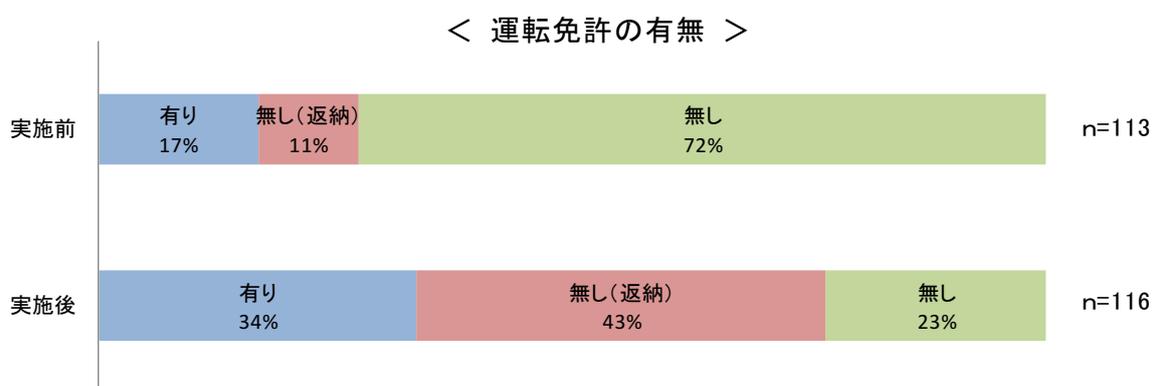


※ 未回答除く

調査日	通勤・通学	買物	通院	帰宅	その他	合計
実施前	15 (12%)	26 (20%)	46 (34%)	28 (22%)	15 (12%)	130 (100%)
実施後	29 (24%)	19 (16%)	32 (27%)	24 (20%)	16 (13%)	120 (100%)

## 2.4 運転免許の有無（問8）

- ・回答者の免許の有無は以下に示すとおりである。
- ・実施前では、約 7 割の回答者が運転免許を所持していない。
- ・実施後では、実施前とは大きく変化し、運転免許を所持している、又は所持していた（返納した）と回答した方が約 8 割となっている。

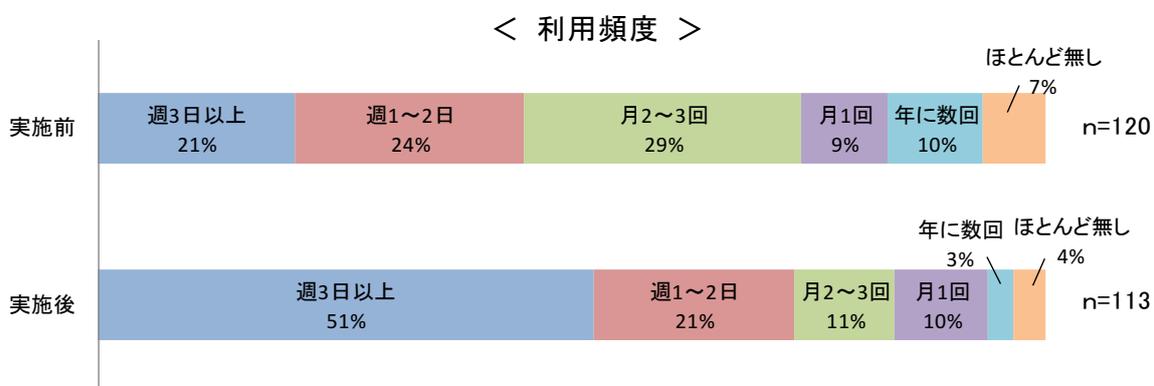


※ 未回答除く

調査日	有り	無し(返納)	無し	合計
実施前	19 (17%)	12 (11%)	82 (72%)	113 (100%)
実施後	39 (34%)	50 (43%)	27 (23%)	116 (100%)

## 2.5 利用頻度（問9）

- ・回答者の利用頻度は以下に示すとおりである。
- ・実施前では、約 5 割の回答者が週 1 日以上利用していると回答している。
- ・実施後では、実施前とは大きく変化し、週 1 日以上利用している回答者が約 7 割となっている。

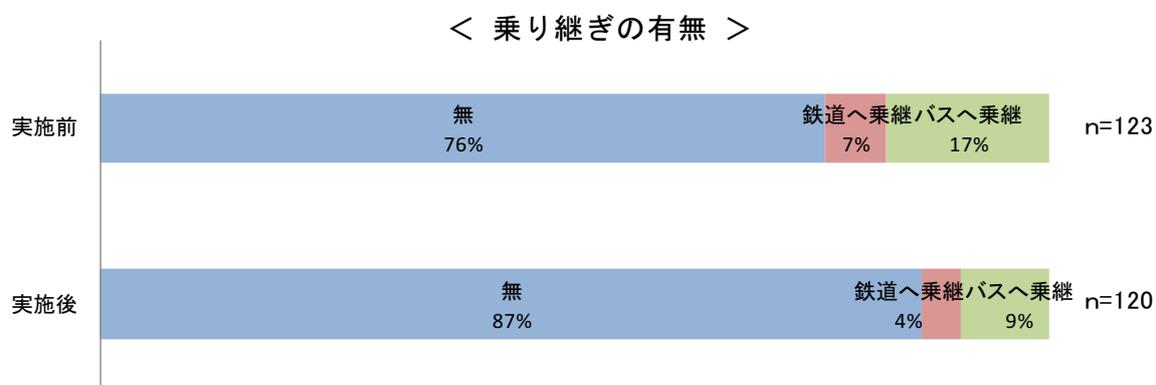


※ 未回答除く

調査日	週3日以上	週1~2日	月2~3回	月1回	年に数回	ほとんど無し	合計
実施前	25 (21%)	29 (24%)	35 (29%)	11 (9%)	12 (10%)	8 (7%)	120 (100%)
実施後	59 (51%)	24 (21%)	12 (11%)	11 (10%)	3 (3%)	4 (4%)	113 (100%)

## 2.6 乗り継ぎの有無（問10）

- ・回答者の乗り継ぎの有無は以下に示すとおりである。
- ・回答者は実施前後ともに、乗り継ぎなしが多くなっており、全体の約8～9割を占めている。
- ・実施後において、バスへ乗り継ぐ回答者が若干減少している。

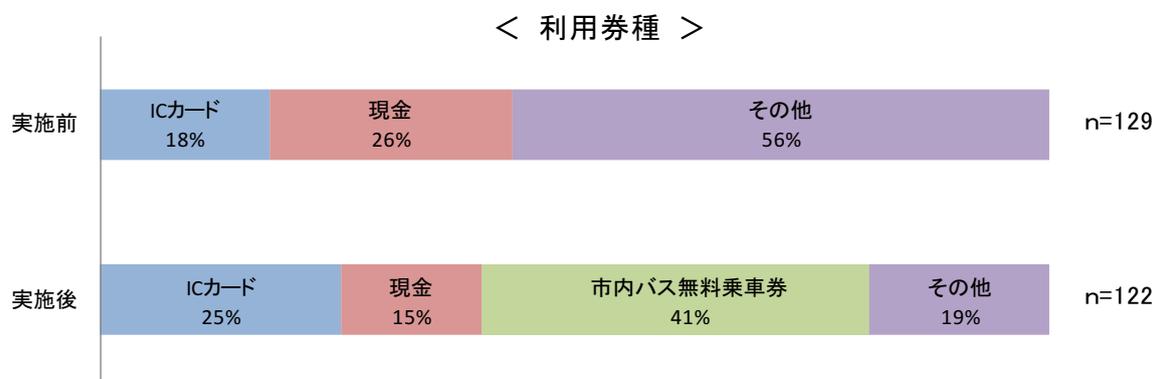


※ 未回答除く

調査日	無	鉄道へ乗継	バスへ乗継	合計
実施前	94 (76%)	8 (7%)	21 (17%)	123 (100%)
実施後	104 (87%)	5 (4%)	11 (9%)	120 (100%)

## 2.7 利用券種（問11）

- ・回答者の利用券種は以下に示すとおりである。
- ・実施前では、その他が多く、加西病院専用券などでの利用が多くなっている。
- ・実施後では、市内バス無料乗車券の利用が約4割となっている。一方で、その他(加西病院専用券等)の利用が大きく減少している。



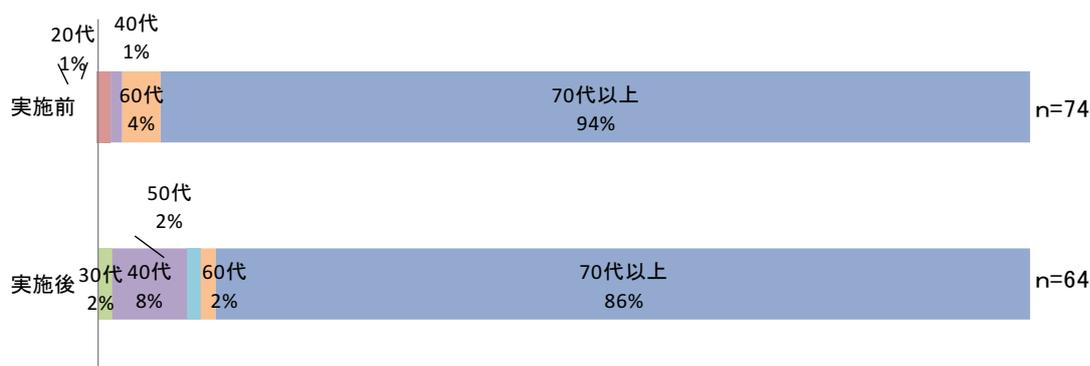
※ 未回答除く

調査日	ICカード	現金	市内バス無料乗車券	その他	合計
実施前	23 (18%)	33 (26%)	0 (0%)	73 (56%)	129 (100%)
実施後	31 (25%)	18 (15%)	50 (41%)	23 (19%)	122 (100%)

## 2.8 参考（運賃無料化対象者のみで集計）

### ■ バス無料乗車券対象者の年齢

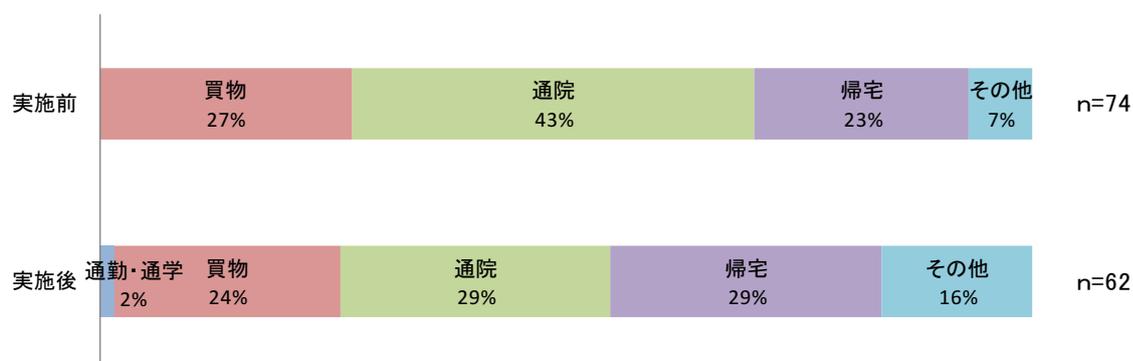
調査日	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
実施前	0 (0%)	1 (1%)	0 (0%)	1 (1%)	0 (0%)	3 (4%)	69 (94%)	74 (100%)
実施後	0 (0%)	0 (0%)	1 (2%)	5 (8%)	1 (2%)	1 (2%)	56 (86%)	64 (100%)



※ 利用区分の「その他」「未回答」を除いて集計

### ■ バス無料乗車券対象者の利用目的

調査日	通勤・通学	買物	通院	帰宅	その他	合計
実施前	0 (0%)	20 (27%)	32 (43%)	17 (23%)	5 (7%)	74 (100%)
実施後	1 (2%)	15 (24%)	18 (29%)	18 (29%)	10 (16%)	62 (100%)

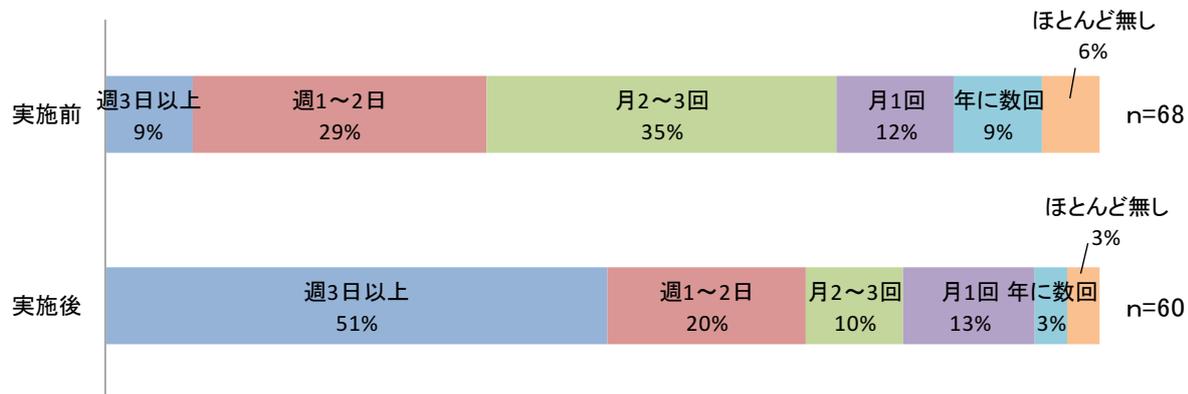


※1 利用区分の「その他」「未回答」を除いて集計

※2 利用目的の「未回答」を除いて集計

■ バス無料乗車券対象者の利用頻度

調査日	週3日以上	週1～2日	月2～3回	月1回	年に数回	ほとんど無し	合計
実施前	6 (9%)	20 (29%)	24 (35%)	8 (12%)	6 (9%)	4 (6%)	68 (100%)
実施後	30 (51%)	12 (20%)	6 (10%)	8 (13%)	2 (3%)	2 (3%)	60 (100%)

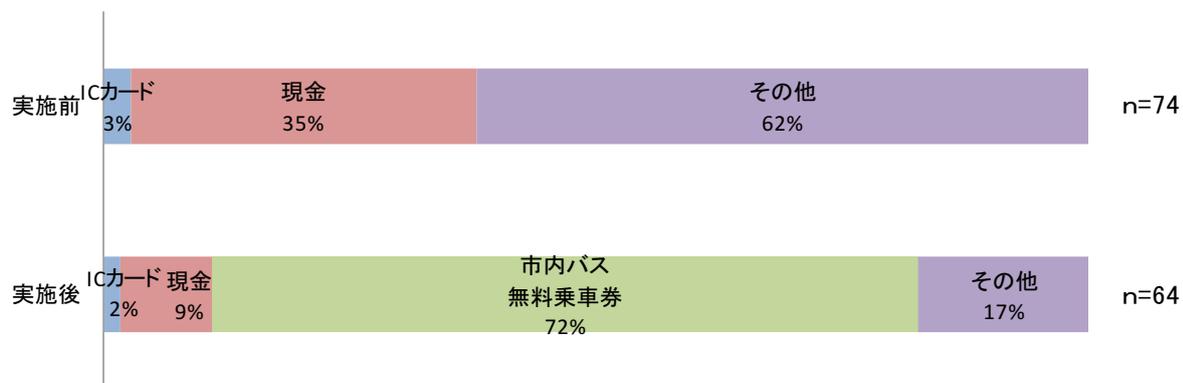


※1 利用区分の「その他」「未回答」を除いて集計

※2 利用頻度の「未回答」を除いて集計

■ バス無料乗車券対象者の利用券種

調査日	ICカード	現金	市内バス 無料乗車券	その他	合計
実施前	2 (3%)	26 (35%)	0 (0%)	46 (62%)	74 (100%)
実施後	1 (2%)	6 (9%)	46 (72%)	11 (17%)	64 (100%)



※ 利用区分の「その他」「未回答」を除いて集計

### 3. 料金施策による効果検証

#### 3.1 バス利用実績からみた効果

効果検証にあたっては、平成 27 年度のバス利用実績と平成 28 年度(平成 29 年 1 月まで)のバス利用実績を用いて、前年度からの変化率から料金施策の有無別の差により推計を行った。

図 3.1.1 は、料金施策による整備効果算定のフローを示したものであり、現時点で料金施策を実施した実績のある平成 28 年 11 月～平成 29 年 1 月の利用者数の推計を行った。

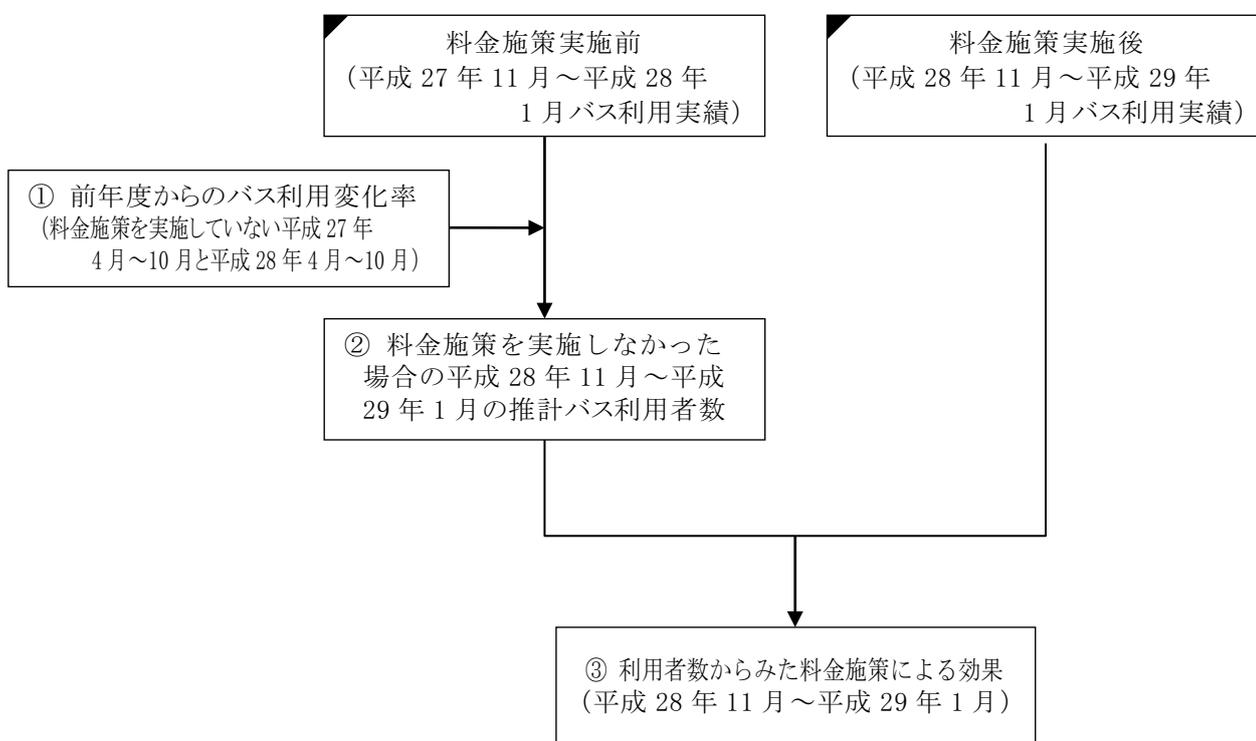


図 3.1.1 料金施策による整備効果算定フロー

< 料金施策による KASAI ねっぴ〜号の整備効果算定 >

■ 系統別バス利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
国正線	H27	141	118	169	177	108	149	154	162	126	101	123	146	1,674
	H28	114	114	135	138	118	144	118	170	189	265	-	-	1,505
	増減率(前年比)	△19.1%	△3.4%	△20.1%	△22.0%	9.3%	△3.4%	△23.4%	4.9%	50.0%	162.4%	-	-	△10.1%
九会線	H27	217	178	254	192	183	174	187	155	168	146	151	202	2,207
	H28	248	197	194	230	255	242	205	274	262	267	-	-	2,374
	増減率(前年比)	14.3%	10.7%	△23.6%	19.8%	39.3%	39.1%	9.6%	76.8%	56.0%	82.9%	-	-	7.6%
フラワセンター線	H27	21	22	64	67	35	61	62	74	78	74	44	118	723
	H28	178	97	181	164	137	231	217	150	238	206	-	-	1,802
	増減率(前年比)	747.6%	340.9%	182.8%	144.8%	291.4%	265.6%	250.0%	102.7%	221.6%	164.1%	-	-	149.2%
市街地線計	H27	741	608	776	826	673	756	749	664	669	508	629	861	8,460
	H28	721	645	783	720	857	749	788	1,104	1,022	793	-	-	8,182
	増減率(前年比)	△2.7%	6.1%	0.9%	△12.8%	27.3%	△0.9%	5.2%	66.3%	52.8%	56.1%	-	-	△3.3%
ねっぴ〜号 合計	H27	1,120	926	1,263	1,262	999	1,143	1,152	1,055	1,037	833	947	1,327	13,064
	H28	1,261	1,053	1,293	1,252	1,367	1,369	1,328	1,698	1,711	1,531	-	-	13,863
	増減率(前年比)	12.6%	13.7%	2.4%	△0.8%	36.8%	19.8%	15.3%	60.9%	65.0%	83.8%	-	-	6.1%

① 前年度からのバス利用変化率

- ・料金施策実施前である平成 27 年と平成 28 年の 4 月～10 月で、料金施策を実施しなかった場合の前年度比を算出

平成 27 年 4 月～平成 27 年 10 月の利用者数:7,865 人  
 平成 28 年 4 月～平成 28 年 10 月の利用者数:8,923 人

↓

8,923 人/7,865 人=1.134520 倍

② 料金施策を実施しなかった場合の平成 28 年 11 月～平成 29 年 1 月の推計バス利用者数

- ・平成 27 年 11 月から平成 28 年 1 月までの利用実績データに、①で算出した比率を乗じることにより、平成 28 年 11 月～平成 29 年 1 月までの間で仮に料金施策を実施しなかったと想定した場合の推計バス利用者数を算出

平成 27 年 11 月～平成 28 年 1 月の利用者数:2,925 人  
 平成 28 年 11 月～平成 29 年 1 月の推計利用者数:2,925 人×1.13420=3,318 人

③ 利用者数から見た料金施策による効果

利用者数:4,940 人－3,318 人=1,622 人  
 増加比率:4,940 人/3,318 人=1.488849 倍

平成 28 年 11 月～平成 29 年 1 月バス利用者数 (料金施策あり)

平成 28 年 11 月～平成 29 年 1 月のバス利用者数 (料金施策なし)

平成 28 年 11 月～平成 29 年 1 月で

約 1,600 人増加  
(約 1.5 倍)

### 3.2 アンケート調査結果からみた効果

#### (1) アンケート調査結果を用いた効果測定方法

平成27年度のねっぴ～号利用実績は図3.2.1に示すとおりであり、バスの利用者数は毎月一定量に定まっている訳ではなく、季節による変動が発生していることが分かる。

アンケート調査結果より料金施策の効果を検証するにあたり、季節変動による影響を排除するため、12ヶ月間とも料金施策を実施した場合と、12ヶ月間とも料金施策を実施しなかった場合のバス利用者数を推計し、料金施策実施前と実施後のアンケート調査結果を用いて、利用属性等の構成比を乗じることで、料金施策実施前後における利用状況の変化を把握した。(図3.2.2参照)

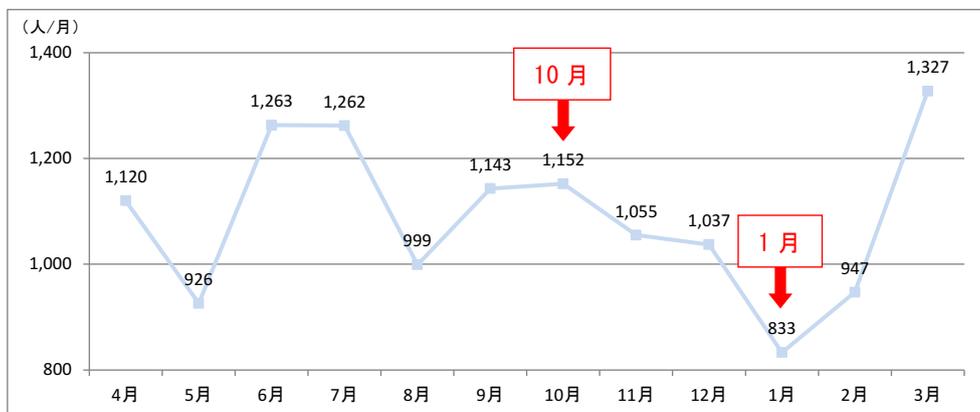


図 3.2.1 平成27年度におけるねっぴ～号利用実績

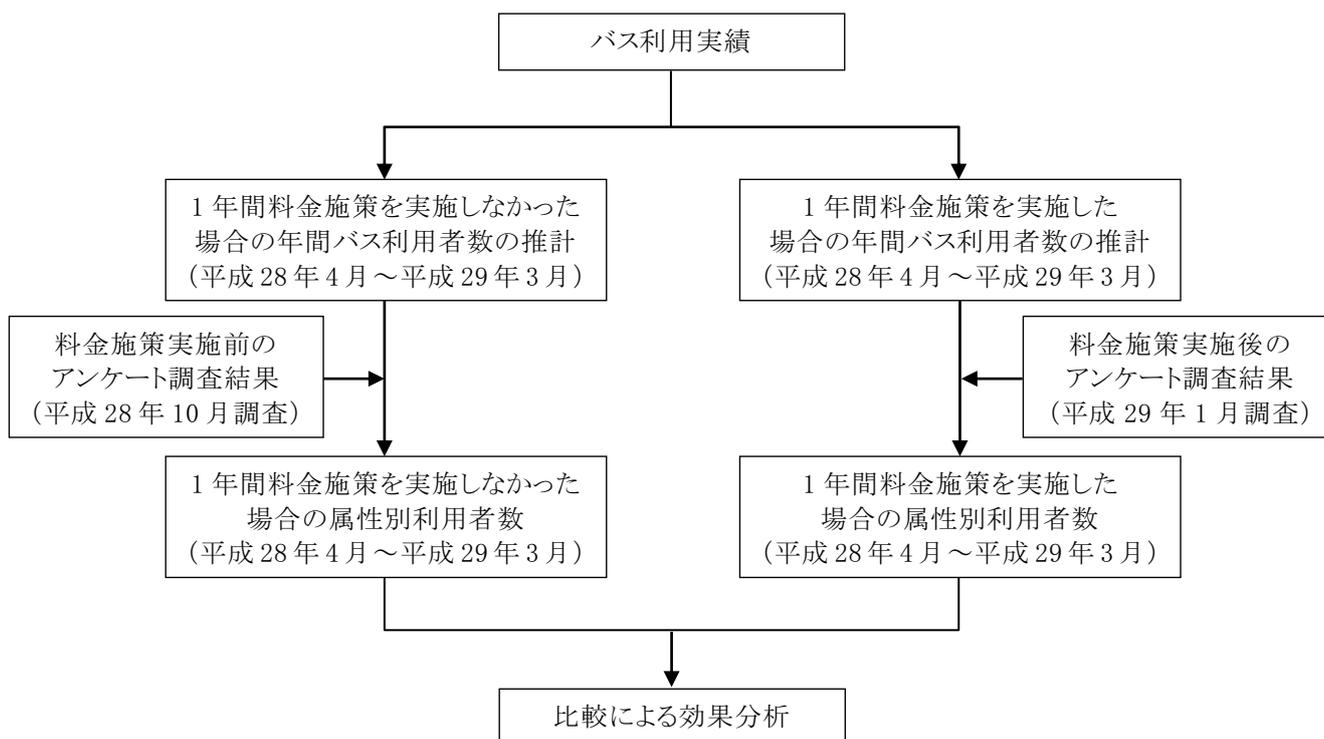


図 3.2.2 アンケート調査結果を用いた効果測定フロー

① 料金施策を実施しなかった場合のバス利用者数の推計

平成 28 年 4 月～平成 28 年 10 月の利用者数:8,923 人(平成 28 年実績)

平成 28 年 11 月～平成 29 年 3 月の推計利用者数:

$$5,199 \text{ 人 (平成 27 年実績)} \times 1.134520 = \underline{5,898 \text{ 人}}$$



$$8,923 \text{ 人} + 5,898 \text{ 人} = \underline{14,821 \text{ 人/年}}$$

② 料金施策を 12 ヶ月間実施した場合のバス利用者数の推計

平成 28 年 4 月～平成 28 年 10 月の推計利用者数:

$$8,923 \text{ 人 (平成 28 年実績)} \times 1.488849 = \underline{13,285 \text{ 人}}$$

平成 28 年 11 月～平成 29 年 1 月の利用者数:4,940 人(平成 28 年実績)

平成 29 年 2 月～平成 29 年 3 月の推計利用者数:

$$2,274 \text{ 人 (平成 27 年実績)} \times 1.134520 \times 1.488849 = \underline{3,841 \text{ 人}}$$



$$13,285 \text{ 人} + 4,940 \text{ 人} + 3,841 \text{ 人} = \underline{22,066 \text{ 人/年}}$$

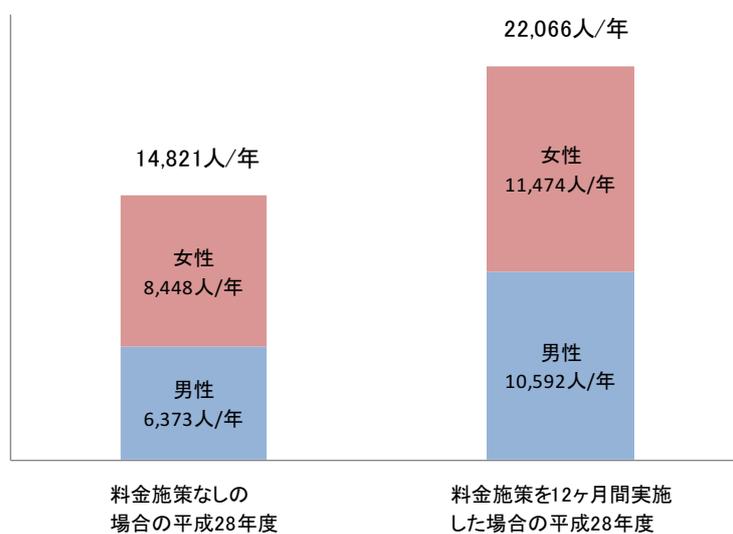
(2) 料金施策実施前後におけるバス利用状況の変化

① 属性

1) 性別（問1）

- ・以下は、アンケート調査結果の割合を用いた料金施策実施前後の性別推計年間利用者数を示したものである。
- ・実施前後では、男性・女性とも利用者数が増加すると考えられる。

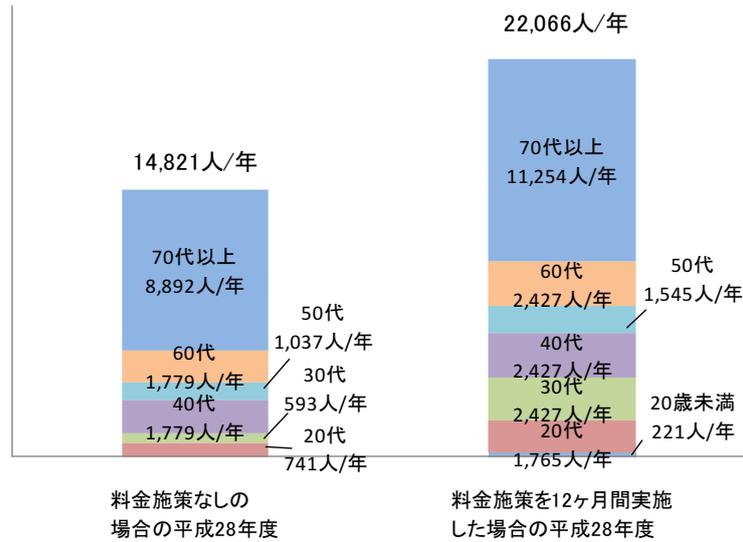
< 性別 >



2) 年齢（問2）

- 以下は、アンケート調査結果の割合を用いた料金施策実施前後の年齢別推計年間利用者数を示したものである。
- 実施前後では、特に20～30代の増加割合が高くなっている。

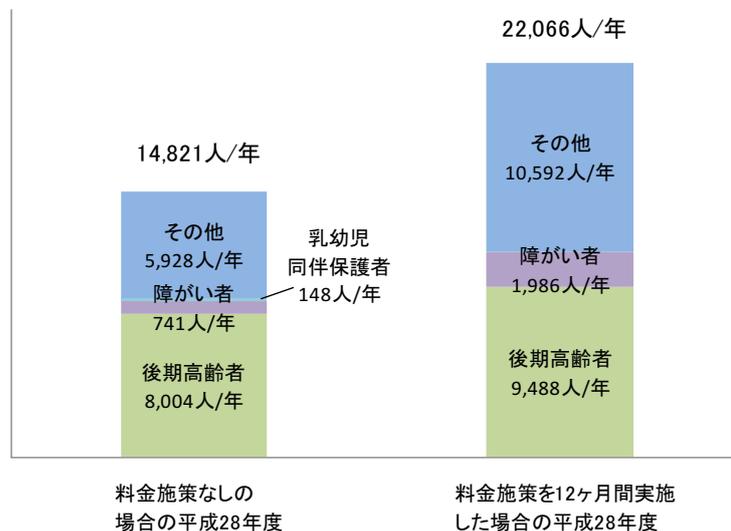
< 年齢 >



3) 利用区分（問3）

- 以下は、アンケート調査結果の割合を用いた料金施策実施前後の利用区分別推計年間利用者数を示したものである。
- 実施前後では、特に障がい者の増加割合が高くなっている。

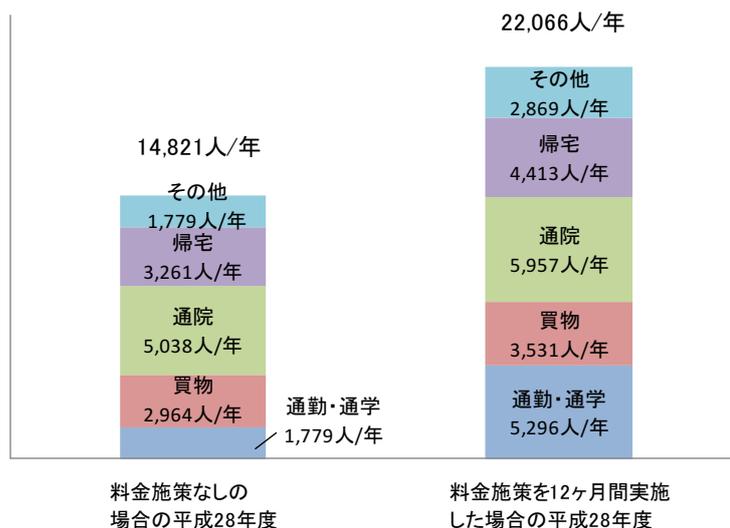
< 利用区分 >



② 利用目的（問6）

- ・以下は、アンケート調査結果の割合を用いた料金施策実施前後の利用目的別推計年間利用者数を示したものである。
- ・実施前後では、特に通勤・通学の増加割合が高くなっている。

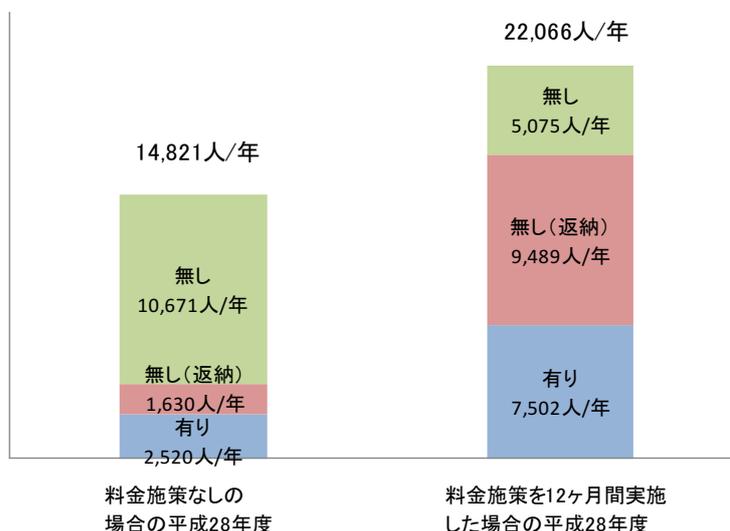
< 利用目的 >



③ 運転免許の有無（問8）

- ・以下は、アンケート調査結果の割合を用いた料金施策実施前後の運転免許有無別推計年間利用者数を示したものである。
- ・実施前後では、特に運転免許を所持している、又は所持していた(返納した)と回答した人の増加割合が高くなっている一方で、運転免許を所持していないと回答した人は減少している。

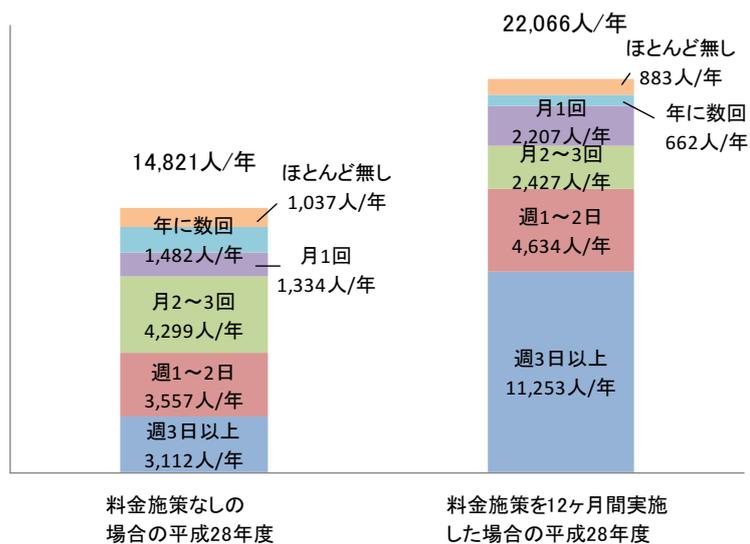
< 運転免許の有無 >



④ 利用頻度（問9）

- ・以下は、アンケート調査結果の割合を用いた料金施策実施前後の利用頻度別推計年間利用者数を示したものである。
- ・実施前後では、特に週1回以上利用していると回答した方の増加割合が高くなっている。

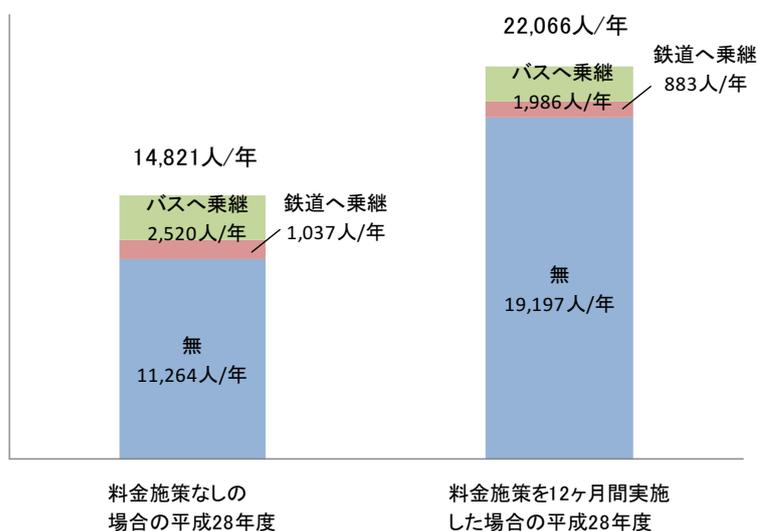
< 利用頻度 >



⑤ 乗り継ぎの有無（問10）

- ・以下は、アンケート調査結果の割合を用いた料金施策実施前後の乗り継ぎ有無別推計年間利用者数を示したものである。
- ・実施前後では、全体的に乗り継ぎ無しと回答した方の増加割合が高くなっている。

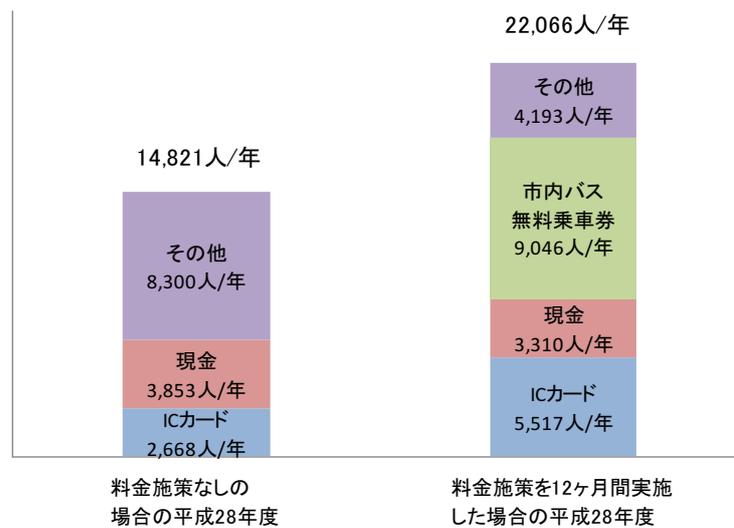
< 乗り継ぎの有無 >



⑥ 利用券種（問11）

- 以下は、アンケート調査結果の割合を用いた料金施策実施前後の利用券種別推計年間利用者数を示したものである。
- 実施前後では、実施前にその他や現金と回答した方が、実施後においては市内バス無料乗車券の利用に転換したと考えられる。また、ICカードを利用していると回答した方の増加割合が高くなっている。

< 利用券種 >



#### 4. アンケート実施による利用者の声

(コミバス等の無料化について)

- ・免許を返納したいと考えている。無料化を続けてほしい。
- ・無料券のおかげで北条方面へ出る回数が増えた。
- ・暖かくなれば無料券を利用してもっと出掛けたい。国正線を利用しているが、もう少し滞在時間が取れるようにしてもらいたい。
- ・無料になり大変喜んでいる。夫に免許返納を勧めている。夫婦で出かける回数が増えた。無料化を続けて欲しい。
- ・無料になり病院や図書館に行くのに使っている。3月末までの試用期間と聞いており、今後は不安である。市役所にお礼の手紙を書こうと思っていた。是非継続をお願いしたい。
- ・一人暮らしで車を持っていないのでバスが無料になり助かっている。
- ・無料化をまだまだ知らない人がいる。近所の方でも知らない方がいた。大変便利な制度なのでもっと広報したほうがいい。
- ・身体障害者で手が不自由なため、記入するのが大変。一人では使いにくい。

(その他のご意見)

- ・青野町の利用者にとって青野口バス停は遠い
- ・青野口をもっと青野町内へ移動して欲しい(小印南町の利用者)
- ・パナソニック転勤初日。今日バスに乗ってみて、バイク通勤にするかバス通勤にするか決めたい。  
単身赴任のため自家用車は持ってきていない。
- ・ICOCA を利用している。クレジットカードでチャージ出来るのが魅力。
- ・もっと便が増えると助かる。

## 5. 効果検証

(効果等)

- ・コミュニティバスの利用者総数は、前年度比較により 1.7倍近く増加している。この内、無料化施策実施による効果は 3 ヶ月で1,600人、1.5 倍の利用者数の増加であり、施策実施による効果が一定程度出ている。
- ・利用者の内訳では後期高齢者の利用が多く、特に免許を返納された方の利用が多い。
- ・障がい者の利用者が若干増えている。
- ・週 1 回以上バスを利用される方の割合が増えており、利用者の外出需要に応えることで市民の生活の質の向上に一定の役割を果たしている。

(今後の課題)

- ・事後調査では、子どもや乳幼児同伴保護者など子育て世帯の利用者がなかった。制度の周知など子育て世帯など、新規利用者の開拓に向けた対策を講じる必要性がある。
- ・利用者の総量による季節変動は把握できているが、属性による季節変動の把握が不十分であるため、今後も継続した調査が必要である。
- ・加西病院やパナソニックなどの通勤で利用される方が増えており今後の増加が想定される。
- ・障がい者などにとっては記入式の乗車券は使いにくい可能性がある。



## コミバス等運賃無料化事業の継続について（案）

平成28年11月より実施している対象者へのコミュニティバス等の運賃無料化事業について、試用期間の効果検証を踏まえ、平成29年4月以降も事業を継続実施する。

### 1 目的

---

市総合計画の重点施策に掲げる高齢者支援や子育て支援等の強化、歩くまちづくりの推進に向けた公共交通事業にかかる取り組みとしてコミュニティバスの運賃を軽減することにより、徒歩を含めた多様な移動手段を利用するきっかけづくりと市民生活の質の向上を目指す。

### 2 対象路線

---

コミュニティバス ねっぴ〜号とはっぴーバスの全路線

重複するバス路線 下記路線の市内の乗降利用

- ・大和北条線（アステアかさい〜中富口〜ニヶ坂）
- ・北条姫路線（フラワーセンター南門前〜北条営業所〜神姫レストラン前または西山下）
- ・北条社線（アステアかさい〜青野ヶ原）
- ・北条高砂線（北条営業所〜東高室・播磨農高前〜倉谷）
- ・姫路社線（奥猫尾または法華山一乗寺〜青野ヶ原）

### 3 対象者と必要な身分証

---

【大人運賃対象者】

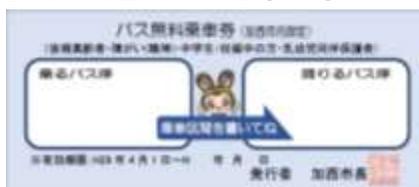
- ① **75歳以上の高齢者**（保険証、**生活保護受給者は身分証不要**）
- ② 障がい者（精神）（手帳）
- ③ 中学生（生徒手帳）
- ④ 未就学児同伴の保護者（身分証不要）
- ⑤ 妊娠中の方（母子手帳）

【小児等運賃対象者】

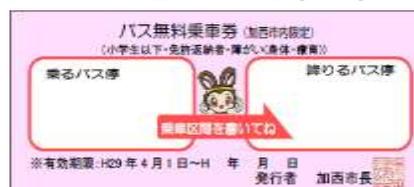
- ⑥ 障がい者（身体 知的）（手帳）
- ⑦ 運転免許返納者（運転経歴証明書）
- ⑧ 小学生以下（身分証不要）

## 4 無料乗車券

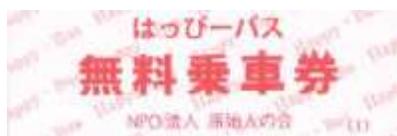
【ねっぴ〜号】(大人運賃対象者①〜⑤)



(小児等運賃対象者⑥〜⑧)



【はっぴーバス】(大人運賃対象者①〜⑦)



(小学生用無料乗車券⑧)



## 5 配布場所

【ねっぴ〜号無料乗車券】

- ・市役所 (人口増政策課・地域福祉課・長寿介護課・国保医療課・総合窓口)
- ・健康福祉会館、地域交流センター、市民会館、各公民館 (善防・南部・北部)
- ・加西病院
- ・観光案内所 (北条鉄道)
- ・神姫バス北条営業所、ねっぴ〜号車内

【はっぴーバス無料乗車券】

- ・市役所 (人口増政策課・総合窓口)
- ・NPO 法人原始人の会
- ・はっぴーバス車内

加 交 協 第 1 5 号  
平成 2 9 年 3 月 1 6 日

加西市長 西 村 和 平 様

加西市公共交通活性化協議会  
会長 佐 伯 武 彦

コミュニティバス等の対象者に対する運賃無料化施策について（案）

平成 2 9 年 3 月 9 日付加ふ人第 3 0 9 号で報告のあった見出しの施策について、一人では外出が不安な高齢夫婦等が気軽に公共交通を利用して外出できるようになったり、利用者が散歩で出かけられる行動範囲が飛躍的に広がったりと、特に高齢者や障がい者のモビリティや生活の質の向上に一定の効果ができていると判断します。施策の継続実施にあたり下記の内容に留意の上、施策のさらなる充実を図られるよう当協議会として意見を付します。

記

1. 新規利用者の開拓に向けた利用促進

無料化施策が既存のコミュニティバス等利用者の利便性向上だけでなく、新規利用者の開拓や潜在的な外出需要への対応に資するよう必要な利用促進を行うこと。

利用促進に当たっては、関係機関や団体と連携協力しつつ、公共交通を気軽に利用した日常生活範囲の拡大など、免許返納を考えている方、移動手段を家族等に依存している方、子育て世帯などターゲットに応じた公共交通への利用転換に向け効果的なアプローチが図れるよう工夫すること。

2. 効果検証の継続と改善への活用

適切な調査を引き続き実施し、利用動向の季節変動や利用状況の推移を把握し、施策の効果検証や見直しを行うこと。また、検証結果から施策の利用促進等が必要なターゲットを明確にし、施策の充実に役立てるとともに、より有効な公共交通網の整備に活かすこと。

3. 公共交通全体の利用促進への取り組みの強化

各路線の利用状況や調査結果から通勤利用者が増加傾向にあり、今後も増加が想定される。事業所への働きかけ等により通勤にかかる潜在需要を掘り起こし新規利用者を増やすなど無料化施策の対象者以外の公共交通利用者に対する利用促進も併せて行うこと。